

南の躍動

令和5年度 第3号

奄美のよさを生かした魅力・活力ある教育の推進

大島教育事務所 令和5年11月1日



オーストンオオアカゲラ



令和5年度全国学力・学習状況調査結果を受けた「次の一手」を！

4月18日(火)に、小学校6年生(国語, 算数)と中学校3年生(国語, 数学, 外国語)を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。大島地区内の結果については、下の表のとおりです。

＜令和5年度全国学力・学習状況調査結果＞

校 種	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	外国語
大島地区	67	63	66	44	38
全 国 差	-0.2	+0.5	-3.8	-7.0	-7.6

大島地区の結果としては、小学校算数が全国平均を上回りました。一方、小学校の国語及び中学校のいずれの教科においても全国平均を下回る結果となりました。各学年、各教科で見られた課題は、基礎的な内容（漢字、分数の加法・除法、英語の基本構文）において、全国平均との差が大きかったです。また、考えなどを書く内容（根拠を明確にして自分の考えを書く、式が成り立つ理由を説明する等）は、全国平均との差が大きく、無答率も高かったです。さらに、児童生徒質問紙及び学校質問紙にも課題が見られました。一つ目は、自己肯定感です。小中学校共に全国平均を下回っていました。二つ目は、主体的に学習に取り組む態度です。小学校は全国平均と同等かやや下回っている状況ですが、中学校は全国平均を大きく下回っていました。これらの課題を受けて、教師が打つ「次の一手」は、見える学力（知識及び技能）と見えにくい学力（思考力や授業への関心・意欲）の両輪をバランスよく育成していくことが重要だと考えます。教師がファシリテーター役になり、児童生徒を自力解決に導き、児童生徒同士が「できる喜び」「わかる喜び」を味わうことができる授業になるよう、学習の場における居場所作り等を目的とした授業改善を図ってほしいです。また、「大島の教育Pamphlet」の授業充実の3ポイントでも示している「目標の明確化」「山場の工夫」「確かめ・見届け」を意識した授業を行い、未来を担う大島地区の児童生徒のために、日々の授業を大切に、更なる授業改善に取り組んでください。

令和5年度大島地区ジュニアリーダー研修会

7月26日(水)、27日(木)の2日間、県立奄美少年自然の家において、9市町村21人の参加者を迎え、標記の研修会が開催されました。ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止又は短縮等での開催を余儀なくされていましたが、今年度は、久しぶりの完全開催となり、講義・演習、野外体験活動等、充実した活動を行うことができました。参加者は、講義や現地研修、グループ協議、創作活動等を通して、交流や研修を深めました。今後、各市町村の子ども会活動等において、参加した皆さんが益々活躍されることを楽しみにしています。



【人権教育を学んでいる様子】



【話し合い活動の様子】



【野外体験活動の様子】

奄美群島日本復帰70周年記念事業に関するリーフレット作成

今年度は、奄美群島日本復帰70周年の記念の年です。

各学校では、奄美群島日本復帰に係る取組として、運動会で奄美をテーマとしてワイド節やエイサーを踊ったり、学習発表会や文化祭で奄美群島日本復帰に関する発表を行ったり、様々な工夫を凝らした教育活動が展開されています。

大島教育事務所でも、この記念すべき年を単なる歴史の通過点とせず、一人でも多くの児童生徒や教職員が奄美の歴史を知り、先人の思いを受け継いで、よりよい社会づくりに参画しようとする意欲や態度を養うために、「奄美群島日本復帰に関する郷土素材リーフレット」と補助資料を作成しました。作成したものは、以下の4点です。

- 奄美群島日本復帰に関する郷土素材リーフレット【小学校用】
- 奄美群島日本復帰に関する郷土素材リーフレット【中学校・一般用】
- 説明用プレゼン「奄美群島日本復帰」（約8分のビデオ映像）
- 説明用プレゼン「命がけの密航」（約6分のビデオ映像）

作成に当たっては、コアティーチャープロジェクト社会科部の先生方の協力をいただき、「①児童生徒が奄美の歴史を知る ②これからの社会をどのようにつくっていくべきか考える」という紙面構成にしています。

また、活用方法としては、各自のタブレットへのデータ送信・紙媒体の配布を行った上で、社会科、道徳科や総合的な学習の時間等の教科・領域の学習に加え、朝の活動、学校行事での活用を想定しています。

児童生徒・教職員が奄美の先人の偉業に思いを馳せ、受け継いでいけることができるよう、本リーフレット・説明用プレゼンの活用を図っていただきたいと思います。リーフレットのデータは、右のQRコードからダウンロードできます。



【小学校用】



【中学校・一般用】

「体力アップ！チャレンジかごしま」前期の取組状況

仲間と楽しく協力し合いながら記録に挑戦する「体力アップ！チャレンジかごしま」の前期の記録申請が終了しました。この「体力アップ！チャレンジかごしま」の実施種目は小学校7種目、中学校5種目あり、学校や児童生徒の実態に応じて種目を選択して取り組むことができます。

令和5年度（前期）の大島地区の取組状況は小・中学校ともに昨年度の記録を下回り、小学校86.7%、中学校67.3%でした。仲間と楽しく協力し合いながら記録に挑戦することで、体力の向上が図られるとともに、学級の絆をより深めることができます。そのため、後期は取り組む学校が更に増えることを期待しています。



＜結果＞ 前期県10位以内にランキングした大島地区の学校数 小学校33校、中学校15校

伊仙町指定文化財「^{せいごうしげひろ}盛郷重廣宛 泉芳朗書簡」

奄美群島日本復帰70周年を迎えた今年、各所で様々な催しが予定されています。このような節目の年を目前に、伊仙町に「盛郷重廣宛 泉芳朗書簡」が寄贈されました。当文化財は奄美群島日本復帰に尽力した伊仙町出身の泉芳朗氏が、東京在住の同郷者、盛郷重廣氏に宛てた直筆の手紙です。これらの手紙は、復帰運動の動きや当時の泉氏の心情、また協力者である盛郷氏の功績を読み取ることができる貴重な資料として、令和4年に町指定文化財となりました。

これからも、歴史年表では表れないこれらの熱い「想い」を後世へと引き継ぎ、奄美群島の今後の発展に寄与していきたいと思ひます。



【盛郷重廣宛 泉芳朗書簡（伊仙町歴史民俗資料館提供）】